

会 議 録	
会 議 名	令和元年度 第1回瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン懇談会
開催日時	令和元年7月26日(金) 10:00~11:45
開催場所	丸亀市役所本館2階第3会議室
出席者	(出席委員) 原真志(会長)、佐藤友光子、高井宏幸、草薙めぐみ、角野幸治、高木和代、高島弘武 高橋勝子、中野吉貫、矢野彰、平田正数 (欠席委員) 高濱和則、安部武矩、山内一輝、尾崎佑太、谷渕大成 (敬称略)
議 題	・平成30年度事業実施状況及び令和元年度事業実施予定について
傍聴者	0人
事務局	(中心市) 丸亀市市長公室長 横田拓也 丸亀市秘書政策課 課長 窪田徹也、副課長 谷本智子、担当長 野本政宏 (関係市町) 善通寺市政策課 係長 小河啓二 主事 伊能雄也 琴平町企画防災課 課長 造田泰 多度津町政策観光課 課長補佐 土井真誠
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	ただ今から令和元年度第1回瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン懇談会を開会いたします。 それでは、事務局職員に異動がありましたので、ご紹介いたします。  <事務局職員紹介> <関係市町職員紹介>  それでは、ここからの議事につきましては、会長よりお願いします。
原会長	議事に入ります前に、本日16名の委員中11名のご出席をいただいておりますので、定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱に基づき、会議は有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。 本日の議事は、(1)「平成30年度事業実施状況及び令和元年度事業実施予定について」です。 項目が多いので、次第のとおり4つの議事に分けて、内容を整理しながら進行したいと思います。 最初に「生活機能の強化」のうち、医療、福祉の項目について、事務局より説明をお願いします。

野本	<p>（「生活機能の強化」（医療、福祉）について説明）</p> <p>ただ今の説明に関して、ご意見やご質問等がございましたらお願いします。</p>
原会長	
原会長	<p>病院群輪番制の維持・充実の取組についてですが、年間利用者数が、平成29年度が3万9340人で、平成30年度が3万3729人と減っていますが、理由は分かりますか。</p>
窪田課長	<p>理由といたしましては、労災病院等において紹介状のない時の初診料の料金の改定があったのが影響いたしまして、すこし下がっています。</p>
草薙委員	<p>1点お願いしたいことは、ひとり親家庭に対しての支援、例えば善通寺市では、病児・病後児保育料が無料で利用できますが、他の市町においては、ひとり親家庭に対しての特別な対応が実施されていないようなので、支援を実施していただきたい。</p> <p>それと、質問ですが、発達障がい児支援事業における研修会とセミナーの参加者数が記載されていますが、市町毎にどれくらい参加しているか分かりますか。</p>
野本	<p>研修会については、合計が253人で、丸亀市247人、善通寺市1人、坂出市1人、宇多津町2人、観音寺市2人です。セミナーについては、合計が175人で、丸亀市150人、多度津町1人、善通寺市12人、坂出市9人、高松市3人です。</p>
草薙委員	<p>周知はどのようにしているのですか。チラシ等を配布しているのか、ホームページ等で周知しているのか。チラシ等はどこに配布しているのか分かりますか。</p>
野本	<p>チラシを作成して、周知をしています。配布場所など詳しい周知方法は担当課に確認しておきます。</p>
草薙委員	<p>0歳から3歳の親の中には、自分の子どもに発達障がいがあるのではないかと不安な部分が多く、皆が自分の力でいろんな事を調べられるわけでないので、もう少し幅広く、周知ができる方法を検討していただきたいと思います。</p>
高橋委員	<p>当初から子育て支援として、ウッドスタートを2市3町で取り組んでいただけたらと提案させていただきました。なかなか難しいということで、何年もそのままでした。その後、まんのう町は独自で地域の木材で玩具を作って、生まれた子どもにプレゼントをするサービスを始められたそうです。それを2市3町で広められたらいいと思います。</p>
野本	<p>こちらといたしましても、まんのう町で今年度からウッドスタートを始められたことは認識しております。担当課にも情報を提供し、圏域内で実施できるように検討し</p>

	ていきたいと思います。
高橋委員	ただ、まんのう町は、出生数が少ないので、大変手の込んだものを作っています。規格とかは、市民の声などを聞いて、適正なものを作っていただきたいと思います。
原会長	介護認定審査件数ですが、平成30年度は平成29年度と比べて減っていますが、要因は何ですか。
窪田課長	要支援の認定の更新期間が1年から2年に延長されたために、平成30年度の審査件数が減っていますが、今年度は増える見込みです。
原会長	他にご質問等はありませんか。ご質問もないようですので、次に移ります。 続いて、「生活機能の強化」のうち、産業振興、消防・防災、その他の項目について、事務局より説明をお願いします。
野本	(「生活機能の強化」(産業振興、消防・防災、その他)について説明)
原会長	ただ今の説明に関して、ご意見やご質問等がございましたらお願いします。
角野委員	以前あった就職面接会ですが、参加する企業の数と参加する求職者の数がほぼ一緒でした。来てくれる方が少ないのは、会社の数が少なくて選択肢がないので魅力がないのか、企業側の魅力がないのかこの辺を分析して、両方とも増えるような手立てを打たないといけないと思います。また、インターンシップの就職実績の事例を各広報誌に掲載していただくとか、成人式の場でもPRしていただけるといいと思います。また、学生に対しては、紙媒体などのアナログではなくて、メールやSNS等で発信して、分母を大きくしていかなければならないと思います。
窪田課長	インターンシップは、平成28年からスタートし、学生や企業に案内をかけて、マッチングに努めて実施してまいりました。ただ、これまで言われてきたのは、実施した後の就職先を調べきれていないとのご意見をいただき、今年度からは後追い調査をして、就職先が圏域か圏域外か市町毎に分かるようにしていく予定です。また、周知の方法についても、SNS等を活用しながら、これまでの取組の結果などを踏まえた周知の仕方も、担当課と検討していきたいと思います。
角野委員	私の会社は、独自で定住促進手当を始めました。それは、一般企業は通勤手当があると思いますが、私の会社は、通勤手当の一律定額5000円にプラスして、善通寺市内に住んでいる人にはプラス5,000円、1市3町に住んでいる人にはプラス1,000円の手当てをつけました。極力職場と近い所に住んでもらうという取組をしています。それを支援していただければ、他の会社にも広がっていくと思います。最初の時だけでも支援していただければ、アピールになるとと思います。

原会長	追跡調査をしっかりと分析をすると、就職に繋がっていない場合、何がうまくいっていないのかの対策をとれるし、うまくいっている場合はうまくいった事例を周知の宣伝材料にすれば首都圏や関西圏の学生にアピールするいい情報になると思います。
草薙委員	土器川や金倉川沿いにたくさんの犬、猫、亀が捨てられています。私の近くの通学路にも集団の野良犬がいて危険を感じます。イノシシではないけれど、対策をお願いしたいと思います。行政の考えを聞かせていただきたい。
窪田課長	犬、猫の件は、現在の定住の取組予定の中にはないので、担当課にお話をさせていただきます。
平田委員	まんのう町の山林には、サルがたくさん出るので対策をお願いしたいと思います。
窪田課長	丸亀市でも、イノシシに限らず地域によっては、アライグマなどの被害が一部出ている所もあるようです。それぞれの市町で有害鳥獣被害防止計画を作って、それぞれの地域にあった対策を行っています。
平田委員	野良犬、猫のえさやり防止条例を策定できないか検討をお願いします。
窪田課長	定住自立圏の取組としてはむずかしいかもしれませんが、担当課にご意見を伝えておきます。
高橋委員	水環境の保全と森林育成の取組において、成果指標が相談件数になっていますが、どのような相談内容になっていますか。相談内容は解決しているのですか。また、この成果指標が適切なのですか。予算はどのように使われているのかをお聞きしたい。
窪田課長	予算は、苗のプレゼントに使われています。相談も苗の植え方、育て方が主な内容になります。成果指標につきましては、この項目に限らず、設定が難しく、大変苦慮しているところであります。
角野委員	山林で間伐等をしている団体に助成をして、その実績を成果指標にした方がいいのではないかと思います。
窪田課長	行政と民間のすべき役割があると思いますので、それぞれの役割分担の中で項目の推進が図っていければと考えています。
佐藤委員	30年度と今年度の取組内容の記載が同じですが、同じ取組ですか。

野本	30年度はまんのう町のかりんまつりで、今年度は丸亀市の綾歌ふるさとまつりで開催する予定となっており、開催地が変わりますが、取組内容は同じと聞いています。
佐藤委員	取組事項ともっとマッチした事業をしたほうがいいと思います。
窪田課長	ご意見をいただきました件につきましては、次回の計画見直しを含めて検討させていただきます。
原会長	地産地消・地産外商の推進の取組についてですが、商品開発はやわらか親鳥ともう一つは何でしたか。
野本	オリーブ骨付き鳥です。
原会長	ビジネスマッチング交流会の成果並びに協力関係を教えていただきたい。
窪田課長	2市3町の生産者と事業者が一同に会するビジネスマッチング交流会を開催しています。商品開発以外でも、流通契約なども成立している事例もあり、生産者と事業者とのマッチングの場としての一定の成果が出ていると考えています。
原会長	商品開発の件数だけでなく、マッチングした内容もPRできればいいと思います。また、沖縄で物産展を開催する効果はどのように考えていますか。
窪田課長	地産外商の部分で担当課が取り組んでいますが、外商の部分は、継続的な取組が必要なもので、それが効果に繋がっていくものと考えております。その点では、2市3町の紹介については、1つの効果として、物産展の中で根付いているものと思います。それ以降の効果については、担当課に確認しておきたいと思います。
佐藤委員	広域観光の推進についてですか、滞在型と関連してどのように観光PRをしているのでしょうか。
窪田課長	滞在型の観光PRとしては、観光キャラバン隊を派遣して取り組んでいて、2市3町の観光宣伝を行っています。
佐藤委員	観光キャラバン隊は何人ですか。
窪田課長	去年は、24人で編成いたしまして、現地のショッピングモールで宣伝活動を行いました。
佐藤委員	こちらで2,3泊すると「こんなステキなことがあるよ」といった宣伝になりますか。

窪田副課長	そういう内容に努めて宣伝をしています。
佐藤委員	宿泊施設の充実は進めていますか。
窪田課長	民間の取組の中で充実してきていると思います。
佐藤委員	外国人向けの民泊のPR等プロモーションはどうなっていますか。
窪田課長	外国人向けのプロモーションは、今まさに必要な取組であり、外国人向けにGOOD LUCK TRIPというフリーペーパーの雑誌に各市町の名物名勝の紹介をする取組をしました。国内では空港などに置き、また、国外では旅行会社に持ち込んで紹介してもらっています。
原会長	GOOD LUCK TRIPは、紙媒体ですか。
窪田課長	そうです。
原会長	スマートフォンでも見られるようにすると思います。 また、インスタグラムは広域で対応していますか。
窪田課長	丸亀市では、まるカメラという名称を付けまして、インスタグラムの投稿サイトで情報発信しています。
原会長	観光は広域でやらないといけないと思います。それぞれ連携して、一緒にPRしていくと思います。
草薙委員	滞在型観光は、民間は民間で、行政は行政で別々の土壌で取り組んでいても効果は上がらないと思います。県内の宿泊施設は少ない現状の中で、行政と民間が一体となり、PRしていかないと効果がないと思いますがいかがでしょうか。
窪田課長	丸亀市では、観光地域づくりを目指して、丸亀版DMOという市や民間事業者など観光協会が中心となって、一緒になって取組を進めていく組織を作ろうとしています。そこで官民一体となって観光施策に取り組んでいく予定です。
佐藤委員	民泊を始めようとする人は、行政の後押しがないとなかなか進まない感じがします。高松の空き店舗で「民泊やりませんか」という張り紙を見ましたが、丸亀市ではやらないのですか。
窪田課長	民泊への行政支援策については、把握しておりませんが、行政が支援すべきところ

	は十分吟味しないといけないと思います。
原会長	聞くとところによると、民泊の指定の認められ方の情報が非常に分かり難く、行政によって基準が微妙に違うらしいです。丸亀市が観光と空き家対策とリノベーションを結びつけてやるんだという方向性を出して、こういう風にすれば民泊は認めるという情報提供をすることが非常に大事であると思います。その辺を前向きに取り組んでいただけたらいいと思います。
原会長	他にご質問等はありませんか。ご質問もないようですので、次に移ります。 続いて、「結びつきやネットワークの強化」について、事務局より説明をお願いします。
野本	(「結びつきやネットワークの強化」について説明)
原会長	ただ今の説明に関して、ご意見やご質問等がございましたらお願いします。
佐藤委員	J Rとコミュニティバスのタイムテーブルをリンクさせるようなシステムができればいいなと思います。
窪田課長	定住自立圏では、これまでコミュニティバスでの市町間の連携を検討してまいりましたが、市町境でそれぞれの行政が運営するコミュニティバスをうまく連動させようという取組は、費用負担面、ルート面、人材面で難しいところがあり、現在の状況では、接続できるバス停の表示などで連携を図っています。 J Rとコミュニティバスのタイムテーブルについては、リンクを考慮した設定に努めています。
原会長	高松空港と高松市内の間で琴電のバスの情報が取り込まれて、グーグルマップで表示されるようになりました。独自でシステムを作るのは大変なので、グーグルマップに取り込まれるように情報発信して、グーグルマップに載れば、利便性は上がると思いますので、研究していただきたい。
窪田課長	情報発信について、丸亀市で言えば、バスロケーションシステムを導入して、利用者が乗りたいバスが何処にいるか分かるシステムを導入しました。こういった取組を一つ一つ積み重ねていきたいと思っています。
原会長	バスロケーションシステムは、スマートフォンで見れますか。
窪田課長	見れます。
原会長	バスのみですか。

窪田課長	バスのみです。
原会長	他の鉄道とバスなどが連結して表示されるといいですね。
草薙委員	善通寺市では妊婦・1歳未満の子どもを養育している市民を対象に利用の助成が実施されています。現在、琴平町にあるタクシー会社が子育てタクシーを運営しており、タクシードライバーは子育て支援現場での研修を受けた者が登録されています。このような子育てタクシーの利用について2市3町で助成するのは難しいでしょうか。
窪田課長	子育て支援の施策は、それぞれの各市町のもつ課題に対して、政策判断のもと実行されているところです。それぞれの取組の中で、何が定住自立圏で連携をとってやるべきことなのか検討していきたいと思います。
草薙委員	善通寺市の助成対象は、市内運営のタクシー会社のみです。子育てタクシーの利用について、市外の利用について補助券対象として利用可能に柔軟な対応をお願いしたいと思います。
小河係長	検討させていただきます。
角野委員	地域情報の共有化と共同発信についてですが、善通寺市には、ケーブルテレビがありません。2市3町がケーブルテレビで結ばれることは難しいでしょうか。
窪田課長	中讃ケーブルのご判断によるところとなります。
草薙委員	図書館相互利用の促進についてですが、善通寺市の図書館が指定管理されるようですが、今までどおり相互利用の促進は継続されますか。
小河係長	これまでどおり、継続されます。
原会長	スポーツ関係ですが、スタジアムで試合がある時の交通渋滞の解消について広域での取組はありますか。例えば、少し離れた場所に駐車してもらって、ピストンで輸送するような交通渋滞対策の考えはありますか。
窪田課長	広域的な取組ではありませんが、丸亀市では、スタジアムと主要幹線を結ぶ道路整備を進めております。
角野委員	長崎のサッカーチームも駅からスタジアムまで2、3キロありまして、そこを歩かせようという取組をしています。カラー舗装して、所々でお店や家の方が接待するという取組です。2、3キロというと丁度、金蔵寺駅からになります。

原会長	<p>他にご質問等はありませんか。ご質問もないようですので、次に移ります。</p> <p>続いて、「圏域マネジメント能力の強化」について、事務局より説明をお願いします。</p>
野本	<p>(「圏域マネジメント能力の強化」について説明)</p>
原会長	<p>ただ今の説明に関して、ご意見やご質問等がございましたらお願いします。</p>
高橋委員	<p>大学等との交流・合同研究の推進についてですが、圏域での学生の取組はないのでしょうか。</p>
野本	<p>各市町の行事に学生がボランティアとして参加していただいております。</p>
高橋委員	<p>学生には目的や意識をもって、その上で参加してもらわないと、ただボランティアで来ましたでは、ちょっとどうかなと思います。</p>
窪田課長	<p>香川大学の学生は、自分たちの授業の一つに地域課題の解決を取入れてくれています。それを丸亀の商店街を舞台に、自分達で商店街の人に話を聞きながら、自分達で解決策を探していく授業をしてきていました。今年も、商店街に限らず、ほかの丸亀の地域を含めてやってみたいという意向を示してくれていますので、しっかり応援したいと思っています。</p>
原会長	<p>定住自立圏の広域的な取組にはなっていないので、私の地域マネジメント研究科で、2年程前にレンタサイクルをテーマにして取り組んだことがあります。そういった広域的なテーマで学生が取り組めるものを促進することができるとよりよいものになると思います。</p>
窪田課長	<p>香川大学に相談してみます。</p>
原会長	<p>ほかにご意見等もないようでございますので、以上とさせていただきます。</p> <p>本日、予定しておりました議事は終了いたしました。</p> <p>以上をもちまして、本日の懇談会を終了いたします。ご審議、お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>